

平成28年2月12日

## 形競技におけるルールの改定について

(公財) 全国高体連空手道専門部審判委員会

形競技において、以下のようにルールの改定をおこないます。都道府県内の各高等学校への周知を宜しくお願いいたします。(全国高体連ホームページにも掲載いたします。)

1. 全国選抜大会団体形決勝戦において、「形の分解」を導入する。ただし、選手の安全面を考慮し形の分解では、ルール上の反則行為以外に、以下の行為を禁止事項とする。

### 禁止事項

- ① 首に蟹挟みをかける行為
- ② 相手を自分の肩より上に持ち上げる行為
- ③ 相手を投げ捨てる行為(相手を片手で支えること)

### ルール上の反則行為

- ① 分解中に怪我があった場合は減点となる。ノックダウンした場合は反則となる。
- ② 審判妨害、安全性のために審判が動かざるを得なかった場合、又は接触した場合
- ③ 分解を演武しなかった場合
- ④ 時間をオーバーした場合(形演武、分解合わせて6分以内と決められている)
- ⑤ 演武中に帯が落ちた場合
- ⑥ あきらかに形が中断、又は停止した場合
- ⑦ 形演武の開始の礼、分解終了後の礼をしなかった場合(礼は3名全員すること)  
また、チーム全員が主審の方を向いて演武を開始し終了すること
- ⑧ 主審の指示に従わなかった場合、品行が悪かった場合(失格になる場合もある)
- ⑨ 異なる形を演武した場合、又は異なる形名を告げた場合

### 減点要素

- ① 演武中に帯が緩んで、尻まで下がった場合
- ② むやみに足をならしたり、胸や腕又は空手着を叩いたり、むやみに息を吐き出すなどの聞こえるような音で合図した場合

## 2. 個人形において

全国選抜大会では、従来通り 1，2 回戦は第 1 指定形（繰り返し使用可）、3，4 回戦は第 2 指定形（繰り返し使用可）とし、5 回戦以降については以下のようにする。

5 回 戦 （準決勝戦） それ以前に使用していない形

6 回 戦 （決 勝 戦） それ以前に使用していない形

インターハイでは、従来通り 1，2 回戦は第 1 指定形（繰り返し使用可）、3，4 回戦は第 2 指定形（繰り返し使用可）とし、5 回戦以降については以下のようにする。

5 回戦、6 回戦（準決勝戦） それ以前に使用していない形で繰り返し使用可

7 回 戦 （決 勝 戦） それ以前に使用していない形

## 3. 上記 1 ならびに 2 について、平成 28 年度全国選抜大会（大分大会）より実施する。